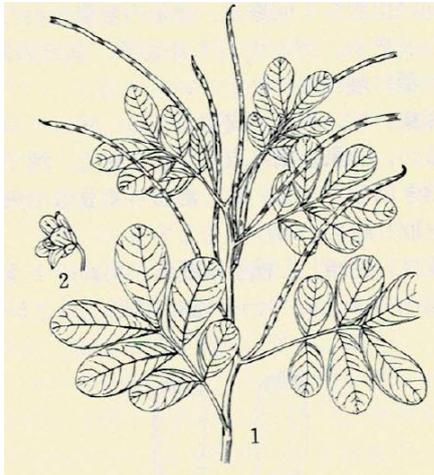
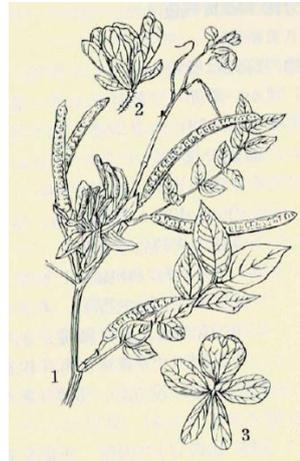


エビスグサ



ハブソウ (中薬大辞典より)



望江南子



決明子



### エビスグサ

中国名＝決明子(神農本草經)      日本民間名＝ハブ茶

マメ科植物

エビスグサは北米原産、中国ではコエビスグサを決明子とする。

エビスグサとは胡草の意味でかつては何国でしか栽培が出来ないため胡の国(外国)の草という意味。

成分＝アントラキノン誘導体であるエモジンやクリソファノールなど、

効能＝降圧作用、利尿作用、緩下作用など、

漢方＝明目、利水、通便作用があるので目の充血や痛み、視力障害、夜盲症、高血圧、肝炎、腹水、便秘などの症状に使われる。

眼の症状(充血、痛み、羞明)には四物湯に決明子や菊花、蔓荊子、黄連、山梔子、黄芩、荊芥、連翹などを加えた洗肝明目湯(万病回春)、二重に見えたりかすみ目には人參(薬用人参)や石斛(セッコク)を加える。高血圧を伴う目まいや頭痛には夏枯草(ウツボグサ)や、龍胆(リンドウ)を加えて服用。常習便秘には麻子仁(アサの実)などを加える。

⑨＝下痢気味の人や低血圧の人は飲まないほうがいい。

### ハブソウ

中国名＝望江南子      日本民間名＝ハブ茶、ハブソウ

熱帯アメリカ原産のマメ科植物でハブソウという。有毒なヘビにかまれた時に葉の汁を患部にこすりつけるといいと言われたことからハブソウの名がついた。植物がエビスグサとよく似ていることと作用が似ることからエビスグサ(決明子)と混同して用いられた。成分は決明子と似る。効能は明目、通便、解毒作用があり結膜炎や便秘、皮膚化膿症、虫刺され、腫れ物に内服や外用剤として使用される。種子を炙ったものを決明子と同様に用いる。